

ワークショップのまとめ

徳島市のごみ減量策として、1班ではごみの減量、2班ではごみの再資源化について、ワークショップを行っていただきました。

1班では、燃やせるごみを減量するため、何ができるか、どのような行動をすれば効果があるかについて話し合いが行われました。

その中でも、燃やせるごみのうち、生ごみと紙類が多くを占めているため、生ごみに手を加え、庭や畑で使用する堆肥にすることや、野菜屑を捨てずに料理に利用すること等、生ごみの減量方法について多くの意見が出されました。しかし、このような方法を実践する家庭が限られていることや、電気式生ごみ処理機購入費の補助事業や、密閉式（EM）生ごみ処理容器の無料交付事業といった市の生ごみ減量施策について知らない人が多いことから、市の広報誌や新聞への生ごみ減量策の掲載増量や、テレビ取材の映像を用いて、より広く周知を行えば良いとの提案がされました。また、ごみ減量に関心のない人がごみ減量策に興味を持てるよう、貯まったポイントで報奨品がもらえる手帳を作成するという提案をいただきました。

作成する手帳の内容について、家庭でできるごみ減量豆知識の紹介、ごみ減量策を実践すればポイントを獲得できるページの掲載、手帳の使用者がより興味を持てるよう、自身でごみ減量の目標を設定できるページを掲載するとの意見が出されました。ポイントの貯まった手帳は、市の施策についての広告が入ったティッシュペーパー等の報奨品と交換できるようにし、有益感を併せ持つ事業としてはとの提案がされました。

2班では、ごみの再資源化について話し合いが行われ、その中で、ごみの再資源化を進めるだけでなく、ごみに関する啓発の拠点になりうるとの意見から「エコステーションの増設」というテーマと、地域住民へのごみ分別の徹底を向上させるとの観点から「分別の啓蒙方法」というテーマの2つが設定されました。

「エコステーションの増設」については、現在徳島市東部の1か所にあり、徳島市北部と東部からの持込みが多いエコステーションを西、南、北、中央の市内4か所に増設し、計5か所にする事で、他地区の持込み者数の増加と、リサイクル率のさらなる向上が狙えるのではないかとの意見が出ました。一方、新設には多額の資金が必要であること、新規利用者ではなく既存の利用者が新設のエコステーションを利用することにどまる可能性もある等の理由から、増設前にエコステーションの需要があるかを見極める実験期間が必要であるとの意見も出ました。増設するエコステーションにおける具体的な取り組み案としては、回収品目の増加や、施設内で回収した資源の売払額を表記するといった、使いやすさと資源ごみを持込む意欲を向上させるような取り組みが必要との意見をいただきました。

「分別の啓蒙方法」については、ペットボトルの出し方や古紙類の分別が徹底できていない現状を受け、町内会単位での説明会の開催や、学生マンションへの分別の指導等、市民に対し直接的な啓発活動を、頻度を多く行うことが求められました。

以上、各班の提案を受け、本市では、令和2年3月に実施を予定している臨時エコステーションにおいて回収品目の増加を早々に導入できるか検討します。また、その他のポイント手帳の配布やエコステーションの増設といった提案については、来年度以降の新規施策の導入を視野に、予算確保に努めたいと考えています。

一方、ごみに高い意識を持つ参加者の方々においても、現行の全ての施策の詳細まで理解、周知ができていない現状であることや、市民のごみ減量に対する意識向上を図ることが重要であるとの意見をいただいたことを受け、今後も市民への周知が徹底できるよう、更に広報活動に努めていきたいと考えています。

また一方で、今回参加されたの方々には、当ワークショップで得た徳島市の施策に対する知見を、地域住民や友人の方々に広めていただくことを期待します。